

令和8年度 学校運営員（会計年度任用職員）採用選考申込書

受験番号	受付日
	令和 年 月 日

記入日：令和 年 月 日

ふりがな		<div>写 真</div> <div>※縦4cm×横3cm</div> <div>上半身脱帽、最近3</div> <div>カ月以内に撮影した</div> <div>もの</div> <div>※裏面に氏名を記入</div>	
氏名			
(男・女)			
生年月日	昭和 年 月 日生 (歳)		
平成 年 月 日生 (歳)			
※年齢は令和8年4月1日現在で記入			
ふりがな			
現住所 〒 ()		電話番号 ()	
		携帯電話 ()	
自宅の最寄り駅 線 駅 (自宅から 分)			
メールアドレス			
※現住所以外に通知書の送付を希望する場合のみ記入してください。			
ふりがな			
郵送先 〒 ()			
最終学歴	最終学校 (又は在学校)	在学期間	
		年 月から 年 月まで 在学・卒業見込・卒業・中退	
資格免許	名称	取得年月日	取扱機関
パソコンの操作について (いずれかの□にレを入れてください。)			
<input type="radio"/> ワード・エクセル <input type="checkbox"/> 使いこなせる (ツールを活用し、複雑な編集ができる)			
<input type="checkbox"/> 操作できる (簡単な文書や集計表を作成できる)			
<input type="radio"/> その他操作ができるもの ()			
志望の動機、特技、アピールポイントなど			
他自治体・民間企業の併願状況 あり (併願先：) ・なし			
親族状況 ※板橋区立の小中学校に勤務・通学している親族がいる場合に記入してください。(予定も含む)			
年齢 (令和8年4月1日現在)	続柄	勤務先・通学先	

- 【記入上の注意】
- 黒のインク又はボールペンで、該当する箇所を記入してください。(消えるボールペンは不可。)
 - 訂正する場合は、修正液等は使用せず、訂正部分を二重線等で消し、訂正印を押してください。
 - 連絡先は、確実に連絡が取れる電話番号を2カ所記入してください。
(携帯電話や実家等で伝言を依頼できるところを含みます)
 - 本申込書は、配属先の所属へ提供する場合があります。

(職歴) ※新しいものから順に記載してください。
※板橋区における在職歴がある方は、その職歴も必ず記載してください。

在職期間	勤務先名	職務内容	退職理由
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		
年 月 日から 年 月 日まで	正規・非常勤・会計年度・その他		

私は、令和 8 年度板橋区学校運営員採用選考を受験したいので、上記のとおり申込みます。
なお、私は**地方公務員法第 1 6 条の各号のいずれにも該当していません。**
また、この受験申込書の記載事項に相違ありません。
令和 年 月 日 自筆署名

【その他】
板橋区教育委員会が他の職種の募集を行う際、本申込書に記載の連絡先等に募集の案内をする場合があります。
案内が不要な方は右記に☒を付けてください。 ☐ 募集の案内は不要です

【アンケート】 応募のきっかけとなったものを○印で囲んでください。
1 板橋区ホームページ 2 広報いたばし 3 ハローワーク 4 紹介（紹介者： ）

【参 考】
地方公務員法第 1 6 条（欠格条項）
次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。
(1)禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
(2)当該地方公共団体において懲戒免職処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者
(3)人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第60条から第63条までに規定する罪を犯し、
刑に処せられた者
(4)日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者